



精神看護ならではのファーストエイド 搬送時サマリー実例付

著：中村創・三上剛人／医学書院

定価：本体 2400 円＋税／TEL：03-3817-5657

●精神科特有の自傷や事故。その緊急時には、悪化させない、深刻化させないための適切な対応が必要だ。本書は、精神科と救急救命科のノウハウを集結し、緊急場面 26 ケースをリアルに再現。看護の優先すべきことが一目でわかり、どのような声かけをするのがよいのか、望ましい態度や避けるべき言動などを紹介。『精神看護』発、「いざ」に備える手引書。

シリーズ大学の教授法 4 学習評価

編著：中島英博／玉川大学出版部

定価：本体 2400 円＋税／TEL：042-739-8935

●多くの教員が難しいとする学習評価。本書では学生の学習活動を把握し、学習目標に到達したかを、根拠を用いて可視化する行為と学習評価を位置づける。そして、大学教育における学習評価の基本的知識と具体的な技法を、わかりやすく整理。教育学以外の教員、新任教員、大学職員、大学院生のための入門ガイドとしても最適。



おとなの学びとは何か 学び合いの共生社会

著：三輪建二／鳳書房

定価：本体 2500 円＋税／TEL：03-3483-3723

●低成長・少子高齢社会のもと、これまで成長や競争を前提とする学びから、成熟と共生をめざす学び合いという新たな可能性を考える。自身の学びの目標や関心に気づく問題設定や省察、意識変容の学習からさまざまな場の学びを展望。看護専門職の学び合いの章では、看護における問題の設定とは、実践と省察のサイクルなど、多くの看護職が示唆を得る書。

災害看護の本質

語り継ぐ黒田裕子の実践と思想

編著：柳田邦男、酒井明子／日本看護協会出版会

定価：本体 2400 円＋税／TEL：0436-23-3271

●阪神・淡路大震災で自ら被災したことを契機に、命の限り被災地支援を続けた黒田裕子氏。本書は、黒田氏と活動をともにした著者たちが、「現場こそ原点」「最後の一人まで」「寄り添いから繋がりへ」など、黒田語録をキーワードに、多職種をつなぎ、避難所や仮設住宅で 24 時間体制の見守りを続けた黒田氏の実践を通して、災害看護の本質に迫る。

